学校番号	3037

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	言語文化	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	『改訂版　言語文化』（数研出版）						
副教材等	『完全マスター古典文法』（第一学習社） 『古典文法ワークノート』（第一学習社） 『新明説漢文』（尚文出版） 『新明説漢文ノート』（尚文出版） 『核心を学ぶベストスタイル古文単語３５１』（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・古典文法や漢文の句法の定着をめざし、古典の基礎を身につけましょう。
・古典の基礎を身に付けるためには、音読が不可欠です。
・授業では、課題に対して話し合いや文章記述など、自分自身の思いや考えを他者と共有したり、複数人で解答を考えたりする協働学習を行います。積極的な参加を心がけてください。
・提出物の期限を守り、予習、復習、試験勉強などは計画を立てて臨むようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし，他者との関わりの中で伝え合う力（特に、文章で表現する力）を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに，我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」，「読むこと」の各領域において，論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を高め，他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり，思いや考えを広げたり深めたりしながら，言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに，進んで読書に親しみ，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	登場人物の行動や心情を説明する。 ［教材］ 説話『宇治拾遺物語』 児のそらね 絵仏師良秀	a：古語と現代語の共通点、相違点について理解している。 b［ 読 ］：文章を表現の特色に注意して読み、心情や人物像を捉えることができる。 c：積極的に「児」や芸術至上主義の「良秀」の言動を味わいながら、自分の考えを説明しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	筆者の意図を説明する。 ［教材］ 随筆『徒然草』 つれづれなるままに ある人、弓射ることを習ふに	a：文語の決まり（形容詞・助動詞「む」「べし」、助動詞の識別など）を理解している。 b［ 読 ］：文章の構成や展開、表現の仕方に注意して詠み味わい、筆者の意図をとらえ、説明することができている。 c：随筆に描かれている筆者の思想を読み取り、積極的に説明しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	漢文の基礎を学ぶとともに、漢文が日本の言語文化に与えた影響や現代社会との関わりを理解する。 ［教材］ 入門一、二	a：漢文と日本語について、文の構造上の違いを理解し、訓読のきまりを理解している。 b［ 書 ］：:漢文の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持つことができている。 c： 漢文に由来する学校名・会社名・人名などを調べて発表する課題において、積極的に自分の考えを説明しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	故事成語の用例を調べ、例文を作る。 ［教材］ 故事成語「矛盾」「狐借虎威」	a：訓読・書き下し文のきまり・句法（禁止・使役・否定・反語・疑問）を理解している。 b［ 書 ］：叙述に即し、現在用いられている意味と結び付けて内容を読み取ることができる。 c：積極的に用例調査に取り組み、わかりやすい例文を作成しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
2	文章中の和歌について修辞技巧と内容を整理する。 ［教材］ 歌物語『伊勢物語』 芥川 東下り	a：文語のきまり（係り結びの法則・助動詞の働き等）を理解している。 b［ 読 ］：物語に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して和歌を詠み味わえている。 c：和歌を中心に物語が展開していくことをふまえ、歌物語への理解を深めようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	登場人物がどのような人物として描かれているか整理する。 ［教材］ 物語『竹取物語』 なよ竹のかぐや姫	a：文語のきまり（形容詞・形容動詞・助動詞「けり」「ぬ」）について理解している。 b［ 読 ］：現代人のものの見方や考え方の違いを読み取ることができている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

		c:：現代とは異なる古語の意味や成人や結婚の儀式をふまえ、進んで物語の世界を理解しようとしている。			
	結びの一文が与える効果について話し合う。 ［教材］ 日記文学『土佐日記』 門出 帰京	a:：文語のきまり（助動詞・助詞の働き）を理解している b［ 読 ］:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 c:結びの一文に込められた作者の意図について粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	漢詩の良さを現代語で伝える ［教材］ 漢詩「静夜思」・「登高」	a:絶句・律詩の形式や起承転結・押韻・対句等の漢詩のルールについて理解している。 b［ 書 ］:自分の思いを効果的に伝えられるよう、語句、文章構成、展開、文体などの表現の仕方を工夫することができる。 c:漢詩の音読を通して「杜甫」「李白」が描こうとした心情を、詩人の人生と合わせて読もうとしているとともに、自分の思いが伝わるよう工夫をして文章をより良いものにしようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	文章中の表現について、春秋・戦国時代の歴史的背景を踏まえて説明する。 ［教材］ 史伝「管鮑之交」	a:句法・助字、作品や文章の歴史的・文化的背景を理解している。 b［ 読 ］:作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 c:進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って調査・発表に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
3	登場人物の行動や心情について分析し、話し合う。 ［教材］ 軍記物語『平家物語』 木曽の最期	a:文語のきまり（敬語法・音便）を理解している。 b［ 読 ］:作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈することができる。 c:「義仲・巴の愛情」「義仲・兼平の愛情」の違いについて粘り強く差異を抽出し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート
	教科書掲載の和歌を本歌とした短歌を創作する。 ［教材］ 和歌 『万葉集』 『古今和歌集』 『新古今和歌集』	a:和歌の修辞や語句の用い方について理解している。 b［ 書 ］:自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫することができる。 c:積極的に古典和歌と自分の体験とを結びつけ、学習課題に沿って本歌取りの短歌を創作しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

	文章中の表現について、解釈上の諸説を調べてまとめる。 ［教材］ 思想「論語」	a：句法（反語・詠嘆・疑問）を理解している。 b[　読　]：「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めることができる。 c：教材本文の解釈上の異説を調べる活動において、粘り強く調査に取り組んでいる。	定期考査	定期考査 ワークシート	ワークシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準ｂ[　]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　15　）時間

・読むこと　…　（　90　）時間